



がっこうだより 令和3年12月15日 学力特集号

# きくがおか

北九州市立企救丘小学校 校長 花田 桂子  
Tel.(093)962-0414  
HP : <http://www.kita9.ed.jp/kikugaoka-e/>

きくがおかのやくそく

- ① きもちのよいあいさつ
- ② くじけずに最後まで
- ③ かんばってそうじ
- ④ おもいやりのある言葉
- ⑤ かんしゃの気持ち

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

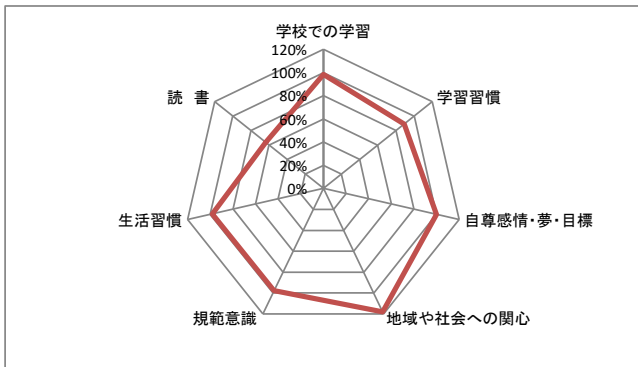
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	全国と比べて全体的に平均値である。知識及び技能に関しては、全国平均より低くなっており、思考力、判断力、表現力等は、全国平均を上回っている。	同程度である
算数	全国と比べて全体的に平均値である。知識及び技能に関しては、全国平均より低くなっており、思考力、判断力、表現力等は、全国平均を上回っている。	上回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



地域の行事に進んで参加しようとするなど、地域や社会への関心が高いことが伺えます。読書では、読書時間の割合が全国平均と比べてかなり低いことが分かりました。1日の平均読書量が10分から30分の児童が学校全体で約半数にのぼります。本の所有数が100冊以上の家庭が全国平均を上回っていることから、環境は整っているけれど、習慣が身に付いていないようです。学習習慣では、自分で計画を立てて進んで学習に取り組む児童の割合が全国平均と比べ低くなっています。自ら考えて学習に取り組めていない実態があるようです。

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

本校は、一部教科担任制を行っており、算数も国語も教科担任となっています。それぞれの教員と、各担任が、本結果を基に課題をしっかり認識し、共通理解をしておくことが大事と考えました。特に算数においては、公式等既習学習の定着が図れていないことが課題です。そこで、主に4・5・6年の単元からプリント(裏に答え付き)を作り朝自習やすき間時間を使い、学習に取り組むようにしています。また、国語の課題である、言葉の意味、きまりなどについてもプリントを作成して算数と同じように取り組んでいます。漢字は、小テスト、単元ごとのテストや毎日の宿題等で定着を図っているところです。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

自分で計画を立てて進んで学習に取り組む児童を育てていくために、再度、自学の取組を行っていく必要があります。興味のあることや学習したことなど個人で課題を決めることで、意欲が持続し、計画的に学習に取り組めるようになると思われます。教室前に自学ノートを掲示するなどして、児童の意欲を高めていくようにします。読書に関しては、本の所有数はあるのに、読書の習慣が身に付いていないことから、教室の机の横に本を常に置いておくなど、いつでも読書ができる環境にしています。また、「読書の日」といった形で、家庭で読書に取り組む日を設ける予定です。